

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ピンポン			
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日 ～ 令和7年3月1日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数)	24
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日 ～ 令和7年3月1日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月11日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【環境・体制整備】 ・利用者にとって分かりやすく過ごしやすい生活空間、環境をつくる事が出来ている	・衛生面（毎日の清掃やアルコール消毒等）の管理の徹底 ・静養室の完備や、個室を2つに分けることで利用者の目的や用途、必要性に応じて使い分けられるようにしている。	・より良い対応するために職員の配置をより充実する。排泄時等、職員が場を離れるような場面でも安心してその支援に入れる環境づくりを行う。
2	【保護者への説明等】 ・保護者の方にも納得頂く説明や必要に応じた面談・助言を行っている。支援者は保護者からの相談に対して共感し、共通の理解をもち、一緒に考える機会を設けている。	・様々な意見があるが、一度は必ず受け入れ対応できるかを考えている。ピンポンで達成に向けて計画を立てるが、家庭でも事業所と同じように対応出来るよう支援方法の提案も行っている。	・年に2回の保護者会による情報提供だけでなく、ペアレントトレーニング等の研修の機会を設ける。内容について強みを活かし、保護者に寄り添った（解決したい）内容で執り行う。
3	【適切な支援の提供】 ・支援プログラムや個別支援計画、活動プログラムを適切に作成し、それに沿った支援を行いながら保護者のニーズや要望を汲み取り、計画及び支援に反映させている。	・基本となる4つの活動や計画に沿った支援を行いながら活動プログラムは固定化されないよう季節に応じたイベントを盛り込み、利用者及び保護者の方に喜んで頂けるよう工夫をしている。	・兼務職員に対する周知が不十分で伝わっていない部分がある。5領域の支援プログラムはもちろんだが、家族支援・地域支援についても分かりやすく周知し、参画しやすい環境にする ・支援前のミーティング等を行い、兼務職員によりタイムリーに情報共有出来るようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【関係機関や保護者との連携】 ・自立支援協議会や地域の他の子どもとの関わりが無いもしくは少ない。	・現状だと毎月参加しているミュージックケアや文化芸術交流システムを利用している地域の方との関わりに留まっている。より地域にひらけたイベント等の開催が必要である。	・利用者が創作活動を通じて作成した物を見てもらおう作品展の開催や事業所に招待するお祭りの開催等を令和7年度は準備し、実行する。
2	【非常時の対応】 ・避難訓練の実施等に関する周知が完全でない。	・訓練の実施（安全計画の周知含む）をご理解頂いている方の割合の方が大きいですが、一方で分からないと回答された方もいる。安全計画の周知がHPへの掲載や訓練実施日の口頭での保護者伝達が要因と思われる。	・ピンポン手紙（通信）にも訓練の様子を掲載し、保護者が必ず目を通せるようにする。またイベントカレンダーやLINEを活用し、訓練前日に周知するなどしながら、なるべく全ての利用者が訓練に参加できるよう計画する。
3	【関係機関や保護者との連携】 ・保護者会の参加者の拡大や、保護者同士の関わるの機会が少ない	・保護者への説明がしっかりなされている一方で保護者会や保護者同士が顔を合わせるような機会の提供は周知も含め不十分であったと考える。	・定期的な保護者会開催の他、参加が難しい保護者向けにアンケート等を用いて情報収集をし、保護者会の内容や質疑応答の結果などを文書で配布することで現地に行けなくても参加出来るよう工夫する。